

がんセンター 便り

 宮城県立がんセンター地域医療連携室



御挨拶

院長 片倉 隆一

日頃、当センターにご協力をいただき感謝申し上げます。

宮城県のがん医療対策を実施していくために、厚労省が全国に指定するがん診療連携拠点病院の整備があります。当センターは、その中心である都道府県がん診療連携拠点病院に東北大学病院と共に選ばれています。この拠点病院になるためには、国が決めた非常に多くの指定要件を満たしている必要があります。来年度からは、その指定要件がさらに厳しくなりましたが、現在認定を受けるための作業が宮城県の指導の下行われています。この指定要件にもあるのですが、がん患者さんが抱える就労問題への対応が求められています。当センターでは、今年から国の指定医療機関に認定され、ハローワークの職員が毎週火曜日に就職先のあっせんも含めた就労相談を開始しました。当センター以外の患者さんも対応しますので、是非ご利用ください。また、同時期に希少がん（皮膚がん、眼科系がんや肉腫など）に対する情報提供も、がん相談支援センターで開始されております。

お知らせですが、長年当センターで活躍してきました消化器内科の鈴木雅貴科長が本年10月末付で退職しました。後任として野口哲也先生が新しい科長に就任しましたので、宜しくお願い致します。

当センターは、県民の期待に応えるべくがん先進医療に向け職員一同努力してまいりますので、今後ともご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



御挨拶

消化器内科長 野口 哲也

長い間、消化器科長として、科内を取りまとめてこられた鈴木雅貴先生の御開業に伴い若輩者ですが、消化器内科科長を務めさせて頂く事になりました。平成2年、岩手医大を卒業し、東北労災病院にて内科研修医を経て、東北大学第三内科（現消化器内科）に入局しました。上部消化管グループに在籍し、学位を取得、宮城県対がん協会に赴任。諸先輩方の御指導のもと上部消化管診断・治療に関して、研鑽を積んで参りました。平成14年より、宮城県立がんセンター消化器内科に勤務しております。現在は上部消化管を中心に内視鏡診断・治療を行っています。近年では、咽頭表在癌に対する内視鏡治療も頭頸部外科と連携し、積極的に行っております。消化器領域の診断、治療は診断機器、治療薬の進歩に伴いより専門化しています。そして、治療後の経過を含め、地域医療との連携が必須とされております。今まで培ってきた専門性を生かしながら、地域の先生方との連携を図り、微力ながら、消化器がんの診断治療に貢献できればと思っております。お困りの症例がありましたら、お気軽にご連絡頂ければ、幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

診療科紹介

消化器内科



野口 哲也 小野寺 博義 鈴木 真一 内海 潔 虻江 誠 相澤 宏樹 及川 智之 塚本 啓祐 宮崎 武文
副院長



消化器内科は、消化器領域の悪性腫瘍を中心に診断・治療を行っております。近年、臓器により悪性腫瘍の診断法・治療手技が高度に専門化されています。当科の特徴として、各臓器別に肝臓・胆膵、上部消化管、下部消化管とグループ化し、診断および治療に携わっております。

今回、特に多様化する肝臓疾患の診断・治療に、より専門的に対応すべく、肝臓センターを創設いたしました。鈴木真一センター長を中心に小野寺博義副院長、宮崎武文先生とともに肝がん診断、治療をはじめ、インターフェロンに加え、内服薬による治療が開始されるC型肝炎など、肝炎ウイルス治療にあたって参ります。

一般の消化器新患外来は毎日行っており、ほかに臓器別専門外来も行っております。(肝臓：月・火曜、胆膵：水・木曜、上部消化管：水・金曜日、下部消化管：木曜) 各専門外来への直接の紹介も構いません。お気軽にご連絡いただければ幸いです。

【肝臓センター】 肝疾患については肝細胞がん（以下、肝がん）の早期発見・早期治療と肝がんの1.5次予防（肝炎ウイルス陽性者からの肝がん発生を防ぐこと）を中心としています。肝がんの治療としては肝動脈塞栓術(TAE)、経皮的エタノール局注療法(PEI)、ラジオ波焼灼療法(RFA)、経口剤による化学療法を、患者さんのQOLを考慮して、総合的に実施しています。肝がんの危険因子は肝炎ウイルス陽性者であることから、肝臓病外来では肝炎ウイルス陽性の慢性肝疾患患者を対象に3か月毎の超音波検査を主とするスクリーニングを実施して早期発見に努めています。早期発見により予後も著明に改善しています。また、肝がん予防を目的に、主にC型慢性肝炎を対象にインターフェロン治療を行っております。

【胆膵グループ】 胆膵グループは虻江誠先生、塚本啓祐先生が、胆膵を中心に研鑽を積んでおります。対象疾患は膵胆道悪性腫瘍が殆どを占め、患者さんの負担にならないように心がけながら、管腔内超音波検査法(IDUS)、経口胆道鏡(POCS)、経口膵管鏡(POPS)、経皮経肝胆道鏡(PTCS)、超音波内視鏡下生検(EUS-FNAB)など最新の検査法を用いて正確な進展度診断を行っております。黄疸症例に対するステント留置術も数多く、また非手術例に対しては積極的に外来化学療法を施行し生存率の向上を得ております。他、胆管結石など良性疾患の症例も豊富です。

【上部消化管グループ】 上部消化管グループは、野口、及川智之先生、宮崎武文先生が担当し、食道・胃十二指腸疾患における診断と治療を行っております。早期胃癌・食道癌に対する内視鏡治療として、内視鏡的粘膜剥離術(ESD)、内視鏡的粘膜切除術(EMR)を始め、ポリペクトミー、ステント留置、拡張術、静脈瘤硬化療法を行っており年間内視鏡治療数は約150例におよびます。また、咽頭表在癌に対する内視鏡治療、咽喉頭内視鏡手術も東北地方では最も多く100症例を超え、頭頸部科とともに取り組んでおります。最近では頭頸部癌や食道癌における経口栄養摂取困難な症例に行う胃ろう造設術の症例も450例を超え増加しております。

【下部消化管グループ】 下部消化管グループは、内海潔先生、相澤宏樹先生が担当し、大腸癌の早期発見・治療を目標としています。内視鏡検査においては、NBI・色素・拡大内視鏡観察や超音波内視鏡検査、生検を含めた精密検査を随時実施しています。近年大腸癌に対する腹腔鏡下切除症例が増加しており、正確な術前診断、適切な病変マーキングに対応しています。治療においては、早期癌を含めた腫瘍性病変に対する内視鏡的切除術、その他内視鏡的止血術、ステントやバルーンによる主に悪性狭窄に対する狭窄拡張術、経肛門的イレウスチューブ留置術、APCなどの処置内視鏡を行っております。検診においては、名取市大腸がん集検2次検査を担当しており、毎年、多くの早期大腸がんを発見しております。さらに、免疫不全状態のがん患者にみられる各種腸疾患の診断・治療については担当各科と協力して取り組んでおります。

がん相談支援センターの紹介

がん相談支援センターのスタッフです。
よろしくお願いします。



藤谷センター長・星上席主任看護師・松田
専門看護師・小野医療ソーシャルワーカー・
多田臨床心理士・船迫相談員・遠藤事務
専任スタッフが多いのですが、協力しながら
頑張っています。

患者さん・ご家族からの相談に対し、「がん対策情報センター」による相談員基礎研修を修了している専門のスタッフが下記について問題解決のお手伝いをしています。①がんに関する医療相談 ②医療福祉相談 ③セカンド・オピニオンの相談・受付 ④緩和ケア相談 ⑤こころの相談 ⑥医事相談(医事課対応)です。当院の患者さん、ご家族以外の方の相談もお受けしています。



- ・がんといわれた どうしよう
- ・医療費どのくらいかかるのかな？
- ・セカンドオピニオンについて知りたい
- ・同じ病気の患者さんと話したいなど

最近のがん相談支援センター

希少がんの症例数が多い病院のご案内ができます

院内がん登録に基づき、2年前の集計で5例以上の実績のある病院を複数ご案内します。宮城県では、**当院と東北大学病院の相談室**にお問い合わせください。

*ご紹介できる病院は、全国のがん診療連携拠点病院で、データの利用を許可した病院です。院内がん登録の特徴や限界などがあり、データを十分提供できないこともあります。

ご利用は、患者さん・その家族、医療機関の関係者に限ります

ハローワーク出張所開催中

厚労省のがん患者等に対する就職支援モデル事業が、全国15ヶ所で実施されています。宮城県では、**当院と東北大学病院**でハローワーク職員による就労相談が行われています。

当院では、**第1、第2、第3火曜日**
10:00~15:00

予約は、**当院がん相談支援センター**か
ハローワーク仙台でできます。

*ハローワークの情報を使用し、就職斡旋まで可能になります。

かつら・頭皮の手入れ・爪の手入れ・化粧などの相談会を行っています。

場所はがんサロン「たんぽぽ」です。
当院以外の患者さん・ご家族でも
利用可能です。

かつら・頭皮の手入れ・爪の手入れ・化粧などの相談会

抗がん剤治療や放射線治療の副作用で、脱毛された方、脱毛する可能性のある方を対象に、正しい頭皮のケア方法とかつら、まゆ毛の書き方、爪のお手入れ相談を行っています
既にお持ちのかつらのメンテナンスもします。

*相談料無料

*場所：宮城県立がんセンター
がんサロン「たんぽぽ」
(1階エレベーターそば)



平成26年度相談会日程 10月~1月の予定

平成26年10月2日(木)	平成26年12月4日(木)
平成26年10月8日(水)	平成26年12月10日(水)
平成26年10月28日(火)	平成26年12月18日(木)
平成26年11月6日(木)	平成27年1月8日(木)
平成26年11月12日(水)	平成27年1月14日(水)
平成26年11月25日(火)	平成27年1月27日(火)

*開催時間：13:00~16:00

問い合わせ先

がんセンター内 がん相談支援センター

学術ニュース

◇病 院

- ・2014.10.14 腫瘍内科の村川康子医療部長が日本学術会議第23期新委員（臨床医学）に任命されました。

◇研究所

- ・2014.11.11 虻江誠特任研究員（がん幹細胞研究部）が血漿中マイクロRNA測定の特癌診断に対する有用性に関する新知見を発表しました。Int J Oncol 電子版に掲載。
- ・2014.10.22 大阪大学との共同研究で、田沼延公主任研究員（がん薬物療法研究部）が、EMTの原因に関する新知見を発表しました。PNAS誌に掲載。
- ・2014.09.22 佐藤賢一部長（がん幹細胞研究部）が、特癌進展とEMTの関連についての総説をJ Gastroenterol に発表しました。



外来新患診療体制表

平成26年11月現在



(宮城県立がんセンター)

診療科	曜日	月	火	水	木	金
消化器科	新患	●	●	●	●	●
	専門外来	肝臓	肝臓	上部・胆膵	肝胆膵・下部	上部消化管
血液内科		●		●		●
腫瘍内科		●		●		
呼吸器内科		●	●	●	●	●
呼吸器外科				●		●
乳腺外科		●			●	
消化器外科			●	●		●
整形外科			●		●	●
脳神経外科		●	●	●	●	●
頭頸部外科		●	●		●	
形成外科			●			●
婦人科		●	●		●	
泌尿器科		●		●	●	
放射線治療科		●	●	●	●	
緩和ケア内科				●		●

*消化器科では、専門外来の診察日にも紹介患者さんの予約を受け付けております。お申し込みの際にご確認下さい。
 診療受付時間：午前8時30分～11時00分 TEL 022-384-3151(代) FAX 022-381-1169 (地域医療連携室)



交通案内

J 桜交 東北本線名取駅下車、バスまたはタクシーを利用
仙南交 名取駅西口から「県立がんセンター線」(なとりん号)を利用
自家用車 名取駅西口から「北目上原線」(なとりん号)を利用
 仙台南インターからは、国道286号バイパス経由
 県道仙台・岩沼線を利用 (所要時間約15分)

地域医療連携室のご案内

地域医療機関の先生方からご紹介を受けた患者さんの診療予約をお取りしてスムーズな受診ができるようにしております。

- 受付 午前8時30分～午後5時15分
- TEL (022) 381-5152 (直通)
- (022) 384-3151 (代) 内線115
- FAX (022) 381-1169

宮城県立がんセンター
 〒981-1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山47の1
 電話(代表) (022) 384-3151 FAX(企画総務課) (022) 381-1168

□ゴマークの3本の柱は「治療、予防、研究」を、上の「まる」は患者さんを表わしています。3本の柱が、患者さんを支えるという意味です。